

実行計画書

2023年11月04日

[運動事業名]

1. 希望をもたらす変革の起点となるリーダー養成事業の企画・運営
2. 理念共感拡大グランドデザインの情報収集・活用・推進【プロ連】
3. ブロック協議会で運用できる人財育成パッケージの更新及び支援【プロ連】

公益社団法人日本青年会議所 東北地区 秋田ブロック協議会
2024年度 アカデミー委員会 委員長 酒井 正信

目次

1. 委員会の設置背景.....	3
2. 委員会の設置目的.....	3
3. 政策手法.....	3
①運動事業名:希望をもたらす変革の起点となるリーダー養成事業の企画・運営	3
②運動事業名:理念共感拡大グランドデザインの情報収集・活用・推進【プロ連】	3
③運動事業名:ブロック協議会で運用できる人財育成パッケージの更新及び支援【プロ連】	4

1. 委員会の設置背景

昨今のアカデミー委員会の活動制限によって現地で JC の理念について語り合う機会が減少し、JC の基本である成長と発展のサイクルが上手く回らなくなってきました。地域の解決すべき課題へ真摯に向かっていくには、バイタリティと親切心を兼ね備えた人財の養成と新たな出会いの機会を提供する必要があります。

2. 委員会の設置目的

各 LOM から集うメンバーへ JC の理念の理解、共感、浸透を図るとともに、地域の課題に向き合える変革の起点となるリーダーを養成することを目的とします。

3. 政策手法

◆委員会の政策手法

①運動事業名:希望をもたらす変革の起点となるリーダー養成事業の企画・運営

事業手法:これからの地域を担うリーダーを養成するために、全 6 回のアカデミー委員会を開催します。秋田ブロック協議会としてすべて現地で開催できるアカデミー委員会は実に 5 年ぶりとなり、その間に社会により良い変化をもたらす力を身につける機会、JC の基本を実践からではなく理論から理解する機会が減少傾向にあります。そのため今年度はすべての活動を現地で開催して委員会内で競争心や助け合いの精神を養うことで、地域の課題に対してバイタリティと親切心をもって解決することができる変革の起点となるリーダーを養成します。

- (1) 実施日時/期間:2024 年 2 月～2024 年 10 月
- (2) 場所:秋田県内
- (3) 予算総額:400,000 円
- (4) 事業対象者:アカデミー生
- (5) 成果目標:アカデミー生のバイタリティと親切心の向上
- (6) パートナー
 - 1) 日本 JC 各会議委員会(協力、連携)
 - 2) 日本 JC 公認プログラムトレーナー(協力)
 - 3) 行政、民間団体関係者(協力)

②運動事業名:理念共感拡大グランドデザインの情報収集・活用・推進【プロ連】

事業手法:JC の理念の理解、共感、浸透を推進するために、LOM の情報を吸い上げ日本 JC と連携して情報の収集と共有を図ります。また Gian Pocket のさらなる発展に寄与するため、秋田ブロック内の議案をピックアップしアップロードを促します。まず推進の第一歩としてアカデミー委員会で理念共感拡大グランドデザインをアカデミー生、各 LOM メンバーが学びます。その後、会員拡大や人財育成に関する意見や質問などを日本 JC と連携して各 LOM の情報を集め、理念浸透へ向けた行動を促します。

- (1) 実施日時/期間:通年

- (2) 場所:秋田県内
- (3) 予算総額:0円
- (4) 事業対象者:アカデミー生、各 LOM
- (5) 成果目標:JC の理念の理解、理念浸透率の向上
- (6) パートナー
 - 1) 日本 JC 各会議委員会(協力、連携)
 - 2) 日本 JC 理念共感プロモーター(協力)

③運動事業名:ブロック協議会で運用できる人財育成パッケージの更新及び支援【プロ連】

事業手法:JAYCEE を育成するために JCI セミナープログラムを活用し学びの場を提供します。講座終了後各 LOM へ JCI セミナープログラムのより良い活かし方を報告します。また新たに導入してほしいセミナーの聞き取りなどを行い、人財育成パッケージ更新に寄与します。

- (1) 実施日時/通年
- (2) 場所:秋田県内
- (3) 予算総額:0円
- (4) 事業対象者:アカデミー生、各 LOM
- (5) 成果目標:プログラムの開催、アンケートの収集と集計、報告の実施
- (6) パートナー
 - 1) 日本 JC 各会議委員会(協力・連携)
 - 2) 日本 JC 公認プログラムトレーナー(協力)